

平成21年産水稻の8月15日現在における生育状況 (山梨県)

～ 山梨県における水稻の生育は「やや不良」～

【調査結果の概要】

田植最盛期は、5月29日で平年に比べて1日遅くなった。
 初期生育は、田植期以降の気温が平年並みに推移したことから順調であった。
 その後の生育は、7月の平均気温が平年並みに経過したものの、日照時間が平年に比べて少なかったことから、やや抑制された。
 これらが影響して、草丈は「やや短い」、茎数は「やや少ない」ことから、生育は「やや不良」が見込まれる。
 なお、出穂最盛期は8月14日で、平年に比べて2日遅く、8月15日現在の出穂済み面積割合は60%となっている。

【統計表】

1 平成21年産水稻の田植え及び出穂の状況（8月15日現在）

区 分	田 植 期					出 穂 期					出穂済み面積割合 %
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		
				対平年	対前年				対平年	対前年	
山 梨 県	5. 14	5. 29	6. 15	1日遅れ	並み	8. 6	8. 14	…	2日遅れ	1日遅れ	60

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植え及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
 2 出穂期の「終期」の欄の「…」は、8月15日現在で期日に達していないためである。

2 平成21年産水稻の生育状況（8月15日現在）

区 分	生育の良否 (平年比較)	生育の状況	
		草丈の長短	茎数の多少
山 梨 県	やや不良	やや短い	やや少ない

注：生育状況は、草丈の長短、茎数の多少の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況を総合して、8月15日現在における水稻の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

山梨県を対象範囲に調査を行っている。

3 調査対象数

作況標本筆：90筆 作況基準筆：10筆 巡回・見積り：28市町村

4 調査事項

は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、被害状況、耕種状況。

5 調査期間

8月15日現在で水稲の生育状況を調査した。

6 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

平年比較は、過年次の作況標本筆結果から作成した平年値と本年の調査結果を比較したものであり、多い(良)、やや多い(やや良)、平年並み、やや少ない(やや不良)、少ない(不良)の5段階で表している。

9 利用上の注意

本調査は、8月15日現在におけるものであり、調査日以降の気象等の推移により変動することがある。

○この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。

【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/yamanashi/2009data/index.html 】



平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施します。

調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。



— 問い合わせ先 —

○本統計調査結果について

連絡先：関東農政局

山梨農政事務所統計部生産流通消費統計課

電話：055(224)6416-18

担当者：斉藤

○農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局

山梨農政事務所統計部統計企画課

電話：055(224)6415-18